



元町だより

令和7年度
7月号

ひびき合うこと

文京区立認定こども園元町幼稚園
園長 前田 宏子

あっという間に夏がやってきました。6月24日にプール開きを行いました。雨が降ったり、暑くなったりでプールに入ることができない日もありますが、できるだけプール遊び、水遊びを楽しみたいと思います。

「プールに入る!」という言葉を使うとき、子どもたちはなんとなく声が弾んでいる気がします。水で遊ぶことは開放感を感じられ、気持ちがよくなってくるのでしょうか。学年が上がると、何メートル泳げるか、どんな泳ぎができるかなど開放感だけではないことも出てきますが、幼児期は純粋に水遊びを楽しめる時期です。水を手ですくって流す、水の流れる様子を見る、バシャバシャと水を叩く、水の中に潜るなど水との関わり方はたくさんあります。子どもたちはどんなことを楽しんでいるのかを見ていきたいと思います。

先日、雑誌で「子どもとのやりとり」についての対談を読みました。その中で子どもとのやりとりは「ひびき合うこと」と書かれていました。子どもは面白いことがあると何度も繰り返して楽しめます。呼びかけられて「ハイ」と答えることが嬉しくて何度も言ったりします。そして、(中略)「楽器だって、叩いても音が出なかったら、つまらないと思うの」(中略)私たち大人は、自分が演奏家のようになって、子どもという楽器からどうやってよい音を引き出すかと考えやすい。それが強くなると、大人の気に入った音を出さない楽器(子ども)に腹を立てることにもなるのである。だが親もまた楽器と考えたときには、親と子は互いにひびき合い、美しい音楽となるように、相手の音をきくことができるのだと思うと書かれていました。¹大人と子どもの関係は一方通行ではありません。大人は大人の考えで動きますが、子どもも子どもの考えがあって動いています。ついつい大人の思うように動かしたくなりますが、大人と子どもの関係は相互的なものです。

水遊びも子どもは楽しいと感じたことを繰り返し行います。「見てて」と言い、何度も顔を水につける姿が毎年何人もの子どもたちと私の中で交わされます。ご家庭でも同じようなことがあることでしょうか。この夏は大人と子どもで美しい音色を奏でましょう。

最後になりましたが、7月18日に終業式が行われ、1学期が終わります。保護者の皆様とともに新しい生活を作り上げてきた1学期でした。本園の教育・保育にご理解、ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。楽しい夏休みを過ごしましょう。

¹ 「幼児の教育」2025 第3号夏p9~10